令和３年度

学 校 教 育 計 画

大阪府立伯太高等学校

（ 全 日 制 課 程 ）

目　　次

1　学校教育活動の方針 …… 1
(1)　学習指導の方針 …… 1
(2)　特別活動等の方針 …… 6
(3)　道徳教育及び生徒指導の方針 …… 8
(4)　進路指導の方針 …… 11
(5)　人権尊重の教育の方針 …… 14
(6)　健康管理と指導の方針 …… 16
(7)　学校組織の運営方針 …… 18
(8)　教職員の研修方針・研修計画 …… 19

2　校 務 分 掌 …… 20
(1)　校 務 分 掌 表 …… 20
(2)　学年主任、ホームルーム担任一覧表 …… 21
(3)　生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表 …… 21

3　行事予定表 …… 23

4　教育課程表 …… 27

1　学校教育活動の方針

(1)　学習指導の方針

１．本年度の達成目標

(1)　総合学科の長所を活かし、系列と多様な選択科目により、学習への興味・関心・意欲とともに、達成感と自信、「やる気」を育成する。同時に、授業内容と方法、教育課程の工夫・改善をより一層すすめ、「わかる」授業づくりと基礎学力の育成をはかる。

ア　公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用した授業改善に組織的に取り組み、その成果を各教科で共有し、授業力の向上に努める。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業がわかりやすい」の肯定的評価を令和３年度で80%以上（令和２年度実績＝76.9%）とする。

(2)　「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業を推進し、協同学習を行うとともに、生徒一人ひとりのプレゼンテーション能力の向上に努める。その実践や成果を共有して、全生徒の「自ら学ぶ力」の向上に資する取組みを工夫する。

ア　ＰＴＡ、同窓会、後援会と連携して、教育活動の推進に努める。学校教育自己診断の「自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」の肯定率が令和 3 年度で 75%以上(令和 2 年度 71.8%)

(3)　様々な資格取得や、他の教育関係機関との連携を視野に入れ、地域の教育的資源の活用に努める。

ア　地域の人材・施設の活用を積極的に取り入れ、地域のニーズも取り入れながら、双方向の人材育成となるよう努める。

(4)　各教科の達成目標

(ｱ) 国語科

現代文　・様々な文章に触れることを通して、語彙力や漢字力等の基本的な学力を養成する。

・作品の読解力として、要約能力と鑑賞能力の充実をはかる。

・作者や登場人物のものの見方や生きる姿勢を学び、自己に向き合う姿勢と態度を養成する。

・上記一連の学習を通して、自己表現能力とコミュニケーション能力の向上と充実をはかる。

古　典　・古文・漢文を繰り返し音読することを通して、古典の世界に慣れ親しみ、基本的な学力を養成する。

・古典読解の基礎学力の充実と共に、昔の人のものの考え方や感じ方を学ぶ。

・古典の世界を味わい、現代生活の中で活かす能力を養う。

(ｲ) 社会科

日 本 史･･･個々の歴史的事実を性格に把握し、時代の大きな流れのなかに位置づけて理解する態度を養う。

世 界 史･･･世界の歴史を学ぶことにより、世界の諸民族の歴史を正しく認識し、国際社会における相互理解を深める。

現代社会･･･人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野に立った現代社会に対する判断力の基礎と、人間の生き方について自ら考える力を養う。

地　　理･･･世界及びわが国の地理、とりわけ自然地理学、人文地理学、地誌などの学習を通して、世界各地域、そしてわが国に対する理解を深める。

(ｳ) 数学科

① 基礎的事項を徹底的に指導すると共にその定着をはかる。

② 放課後の個人指導や定期的な集団指導を行う。

③ １年次に習熟度別に２クラス３展開し、目の行き届いた授業を行う。

(ｴ) 理　科

① 自然現象に対する興味･関心を促し､日常生活と自然との関係性を科学的に考える力を養う。

② 実験機器や設備の充実をはかり、実験・観察の機会を多くする。

③ 理科の各科目及び他教科との連携を密にし、科学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

・化 学 基 礎…… 物質とその変化への関心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てる。

・科学と人間生活…… 身の回りの事物・現象や科学技術を題材に、科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高める。

(ｵ) 保健体育科

① 健康で安全な生活を営むため、日常生活において健康について考える習慣づけをはかる。

② １年次は個人の発達、２年次は社会性の習得、３年次は生涯スポーツに重点をおき、体力の向上と健康・安全に留意して自主的に運動を実践する態度と能力を身につけさせる。

③ 配慮の必要な生徒を含めた集団活動づくりをし、全体的な活動と個々に応じた活動との調整およびその評価についての研修・実践の充実をはかる。

(ｶ)　芸術科

①　芸術科の学習を通し、直感的な思考力や創造的な構想力を養い、表現する喜びを体得させる。

②　すぐれた文化的芸術的な作品に接することによって鑑賞力や自分で表現する力を養い、また相互鑑賞の中でコミュニケーション力を身につけさせる。

③　芸術科における基本的な技術や知識を身につけさせ、その能力を自己表現の場で発揮できる力を養う。

(ｷ) 外国語（英語科）

本校生徒各々の学習到達度には大きな差異があるので、その実態に対処するため、次の点に留意して指導していきたい。

①　どの段階の生徒も積極的に参加できる授業を研究、開発していく。具体的方策として補充問題をプリントして与え指導していく。

②　到達度の低い生徒の早期発見につとめ、放課後の補充指導や個別指導を行う。

③　到達度の高い生徒や学習意欲をもった生徒に対して、放課後個別に補習を行い、自主的学習の習慣化をはかる。

④　習熟度別少人数展開授業を実施し、きめ細かな指導を試みる。

⑤　大阪府外国人英語講師とのＴ－Ｔを取り入れ、生徒が興味をもてる授業を展開する。

(ｸ) 家庭科

①　人の一生と家族・家庭、及び福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

②　子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

③　手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。

(ｹ) 情報科

情報通信ネットワークを通してコミュニケーションするための基礎的な知識、技術を身につけさせる。実技ではティーム・ティーチングを実施し、全体により深い理解をさせる。具体的には、次の事柄を目標とする。

・パソコンで日本語の文章が入力できる。
・プレゼンテーションソフトを用いてプレゼンテーションを作成、発表できる。
・情報を収集、加工、発表できる。
・文書作成ソフトを用いて、文書の作成ができる。
・著作権、情報社会でのモラルについて基本的なことがらを理解している。

(5)　総合的な探究の時間

「総合的な探究の時間」として、「グローカル・スタディーズⅡ」「グローカル・スタディーズⅢ」を開講している。「自分と社会の関係を身近な視点と大きな視点で見つめ、自身の進路を切り拓くための時間」として取り組む。

①　ありのままの自分を受け容れ、その延長に他者を尊重する態度を育む。

②　具体的な人間の生き方を通してこれまでの自分を対象化し、これからの自分の姿を想像する力を養う。

③　さまざまな教材を通して個々の問題に気づき、意識化することで、その解決のための知識・技能を育む。

④　「進路への自覚」を促し、自己と社会の関係を総合的に理解し行動する能力の育成をはかる。

⑤　さまざまな課題を調べ、発表する経験を通して、自ら課題を見つけ解決する力を養う。

以上を留意点として、進路指導部・人権教育委員会との連携を図りながら、人権教育の視点をもったキャリア教育の創造をめざすものとして取り組む。

(6)　産業社会と人間

自己啓発的な体験学習やグループワークなどを通して、職業の選択決定に必要な能力、将来の職業生活に必要なスキルやコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や、生きがいを目ざし、生涯にわたって学習に取組む意欲や態度を育む。また、現実の産業社会や、その中での自己の在り方・生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成する。

・人間関係づくりや意見交流をはかり、体験学習等を通して試行錯誤しながら自分らしさを見出す。

・職業の選択決定に必要な能力・態度、また将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに自らの適性に応じた科目選択を行う。

・若者に関する雇用の問題や多文化共生等に関する社会的課題を学び、社会参加のためのスキルやメディアリテラシーの力を養う。

・豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。

以上をもとに、各分掌と連携を図りながら、キャリア教育の創造を目指すものとして取り組む。

２．学習指導方法等の研修計画

(1)　年間計画に従い、学習指導等について研修の場をもつ。

職員会議…各学期末の成績会議の場で生徒の実態、指導内容等の情報交換をおこなう。

原級留置者・中退者の防止および観点別評価の運用のための研修をおこなう。

学年会議…毎週月曜日の学年会議の場で学級担任と教科担任との情報交換をおこなう。

定期考査毎に学年の全授業担当教員で行う成績会議で、教室での生徒の状況や成績に

ついて研修する。

教科会議…教科会議で、教科指導計画、指導法、指導内容の取り扱いについて常に検討する。

(2)　教育課程・学習評価に関して、個々の分野を通して専門的な研究をすすめる。特に次年度からの観点別評価の実施に向けた試行に取り組む。

(3)　研修機関が実施する研修会・研究会等に積極的に参加し、研修を重ねる。

３．学習指導の改善と原級留置・退学の防止

(1)　進級内規が法令の趣旨に沿い、生徒の実態に合うよう整備に努める。

(2)　生徒の成績判定は、教科会議、学年会議、成績判定会議（議長は教頭、構成は全教員による）の３つの会議を経て校長が決定する。規定内の単位不認定科目を持つ生徒については、追認指導を行い、単位認定ができるよう努める。

(3)　事前指導を含む救済措置など、こまめに指導し基礎学力の定着を図る。

(4)　成績不振者に対しては、放課後等の指名補習や特別課題を課するなど、きめ細かな指導を講じる。

(5)　毎週行う学年会議で情報交換を行い、学年全体としての指導方針を確認し実行する。また各考査後の学年成績連絡会議を利用して全担当教員が課題の多い生徒の状況を把握することに努める。

休みがちな生徒に対しては、担任から毎朝家庭に電話をしたり、授業担当者による積極的な声かけなど、きめ細かな指導に努める。

(6)　保護者との連携は担任を中心とした電話、個人面談、家庭訪問等を通じて、連絡を密にする。また、６月中旬、１１月中旬に三者懇談期間を設ける。また必要に応じて担任を中心として指名懇談を実施する。

４．年間授業日時数の確保についての措置

(1)　年間行事の精選

実授業日時数を確保するため学校行事を精選し、学力の向上をはかるべく計画する。

(2)　自習時間の補充

出張等のある場合、事前に時間割変更を行う。変更が不可能な場合は当該教科内あるいは各学年教務が割り当てた担当者による自習を行う。ただし、課題やテキスト等を必ず準備し、教科指導の空白を作らないよう配慮する。

(3)　創立記念日や夏期休業中に補充授業を組み、授業日数の不足を補う。

(2)　特別活動等の方針

１．本年度の達成目標

(1)　ホームルーム活動

(ｱ) 集団の一員として、一人ひとりの生徒が学校生活に適応し積極的に協力し合える体制をつくりあげる。

(ｲ) 教科・科目の学習や生徒会活動等の基礎集団として自覚させると共に、ホームルーム成員間の人間関係の醸成に努める。

(2)　生徒会活動

(ｱ) あらゆる機会を通じて、生徒の自主活動の向上をはかる。

(ｲ) ホームルーム活動が生徒会活動の基礎であるという認識の下に、様々な行事・催しにクラス全体として取り組む体制づくりを、各種委員会を通じて追求する。

(ｳ) 体育祭・伯太祭を生徒会の重点行事として位置づけ、精力的に取り組む中で、生徒会執行部・各種委員会を積極的に担う人材育成をはかる。

(3)　部活動について

(ｱ) 生徒相互の理解と協力、教員と生徒との理解をはかる。

(ｲ) 適正な指導により活動効果を高める。

２．特別活動の年間指導計画

(1)　ホームルーム

(ｱ) ショート・ホームルーム

毎日、始業前および終業後にショート・ホームルームを行い、生徒の状況観察を行うとともに、朝学習に取り組む。

(ｲ) ロング・ホームルーム

木曜日の６限に実施し、学年の年間計画に沿ってクラス担任の指導によって自主的に行う。

ホームルーム計画

月	内容		
	１　　年	２　　年	３　　年
4	１年生のスタートにあたって オリエンテーション 進路アンケート キャリアパスポートファイル作成学級役員選挙 クラブ体験 情報モラルＨＲ	２年生のスタートにあたって 進路希望調査 人権ＨＲ 学級役員選挙 キャリアパスポート作成	３年生のスタートにあたって 学級役員選挙 進路説明会 進路希望調査 キャリアパスポート作成 進路ＨＲ（進路手引き配布）
5	薬物乱用防止ＨＲ 体育祭について 考査に向けて 避難訓練	体育祭エントリー 薬物乱用防止ＨＲ	学年集会 体育祭について 考査に向けて 避難訓練
6	体育祭集会 体育祭ふりかえり 交通安全講習会 進路ＨＲ	進路ＨＲ 交通安全講話	薬物乱用防止ＨＲ 体育祭集会 体育祭ふりかえり 選挙について
7	期末考査に向けて 科目選択予備調査 人権ＨＲ 伯太祭に向けて	夏休みを有意義に過ごすには 人権ＨＲ 薬物乱用防止ＨＲ 学年集会、期末考査に向けて	夏休みを有意義に過ごすには 期末考査に向けて 進路ＨＲ 人権ＨＲ 情報モラル講話
8		夏休みの反省と２学期への決意 避難訓練	
9	夏休みの反省と２学期への決意 伯太祭の企画について 系列・自由選択科目 選択指導	夏休みの反省と２学期への決意 体育祭に向けて 自由選択科目 選択指導	自己の進路に取り組む（進路HR）
10	中間考査について 伯太祭に向けて 学年集会	伯太祭のとりくみ 伯太祭に向けて 学年集会 修学旅行に向けて	中間考査に向けて 学年集会 伯太祭に向けて
11	伯太祭準備 伯太祭の反省、ふり返り 生徒会役員選挙 期末考査に向けて	伯太祭準備、 伯太祭の反省、ふり返り 学年集会 期末考査に向けて	伯太祭準備 進路ＨＲ 期末考査に向けて 生徒会役員選挙
12	進路ＨＲ 人権ＨＲ 期末考査に向けて 冬休みの学習と生活について	進路ＨＲ（進路別説明会） 人権ＨＲ 生徒会役員選挙 冬休みを有意義に過ごすために	人権ＨＲ 冬休みを有意義に過ごすには 卒業に向けて
1	冬休みの反省 学年集会 進路ＨＲ	進路に向けて 学年集会 進路ＨＲ	学年末考査に向けて 学年集会 卒業式について
2	１年生をふりかえる 学年末考査に向けて 進路ＨＲ、人権ＨＲ	進路講座 ２年生をふりかえる 学年末考査に向けて、進級に向けて スポーツ大会	高校生活をふりかえって
3	学年の終わりにあたって	学年の終わりにあたって	

(3)　道徳教育及び生徒指導の方針

１．本年度の達成目標

①　学校生活を意義あるものにするため、規律・規範意識を高めるよう個々の生徒の指導にあたる。

②　問題行動を未然に防ぎ、ルールを守ることのできる生徒の育成を目指す。

③　メールやインターネットを利用したいじめなど、重大な事象にならないよう人教委と協力して指導する。

２．個 別 指 導

ひとりひとりの生徒の持つ問題点を明らかにして、現象面の問題を解決するよう努力する。

①　多様な生活実態をかかえた生徒個々の問題に対処する為、学年会議などの機会に積極的な問題提起を行い、体制として問題行動に対処していく事に努める。

②　問題行動に対しては担任、関係教員、家庭との連携をしっかり保ち、生活背景をふまえた指導体制の確立につとめるとともに、関係機関との連携を図りながら問題の解決に努める。

③　両親あるいは一方の親がいない家庭、また経済状態が思わしくない家庭の生徒の実態把握に努め、人教委と密接に連携し積極的な動きを援助する。

３．集 団 指 導

全教員があらゆる教育活動の場で、集団の中で自律ある行動をめざし学級・学年単位の指導に当たる。

①　定期的な学年集会などを通じて、全体の中の個人を自覚させ、集団生活の意義を理解させる。

②　学校行事などの実施にあたっては、生徒会指導部やその他の係との連絡を密にし、組織的に指導する。

４．交通安全指導

(ｱ)　原付自転車・フル電動自転車の乗車について、家庭の指導への協力を求め、問題に対しては生徒指導部できめ細かな指導を行う。

(ｲ)　安全教育については特別の時間を設定し、講演等を行う。その際、和泉警察署・日本自動車教育振興財団等、諸機関の協力を得る。

4　月	入学式、１年生交通安全宣言、始業式・生徒指導の講話（全学年）、 マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、情報モラル講習会（１年）
5　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、大阪府高等学校生活指導研究会、
6　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、薬物乱用防止 HR（２・３年）、 交通安全講和（１・２年）、登校指導強化日、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
7　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、情報モラル講習会（２・３年）、 和泉警察署管轄内学警連絡会、終業式・生徒指導の講話（全学年）
8　月	始業式・生徒指導の講話（全学年）、 マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）
9　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、 堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
10　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、 薬物乱用防止講演（２年）、大阪府高等学校生活指導研究会
11　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、 大阪府高等学校生活指導研究会、学警連絡会（和泉警察署少年係）
12　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、和泉警察署管轄内学警連絡会 終業式・生徒指導の講話（全学年）、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
1　月	始業式・生徒指導の講話（全学年）、マスク・体調管理指導、 登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、 登校指導強化日、大阪府高等学校生活指導研究会
2　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、登校指導強化日 身だしなみ指導（頭髪・服装）、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
3　月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、 身だしなみ指導（頭髪・服装）、和泉警察署管轄内学警連絡会、 終業式・生徒指導の講話（全学年）、合格者説明会・生徒指導説明

５．学校図書館の利用指導並びに読書指導計画

(1)　運営

(ｱ) 係職員と各クラス選出の生徒図書委員は全体奉仕の精神で日々の運営と管理にあたる。

(ｲ) 職員は主として図書、雑誌、各種の資料の受け入れ、整理、会計等の事務処理を分担し、生徒委員の指導にあたる。

(ｳ) 生徒委員はクラスの生徒と図書館との間の情報伝達の役割を担う。

(ｴ) 図書購入に際しては、利用者の意向を十分反映するよう予算の執行にあたる。

(2)　図書館利用指導と読書指導

(ｱ) 一年生を対象とした図書館オリエンテーションをクラス毎に行う。

(ｲ) 年間計画の中に読書指導及び図書館利用の時間を組み込み、図書館には複本を用意してその活動を支える。

(ｳ) 教科担当と連携して、適当な教材を提供する場として図書館を位置づける。

(ｴ) 広報活動を充実させる。

(3)　情操教育並びに生活指導との関連

(ｱ) 館内では公共物の取扱いをていねいにし、生徒相互のよい人間関係がうちたてられるよう閲覧態度に特に注意する。

(ｲ) 人間形成の一助として、また生涯教育としての読書の意義の重要性を理解させるとともに資料の調べ方に慣れさせる。

(ｳ) 読書による思索をすすめ、物の見方、考え方を養い、正しい判断力をつけさせる。

(ｴ) 館内をうるおいのある環境とし、よき社会人となるための読書エチケットを守るよう配慮する。

(ｵ) 図書館の蔵書管理にコンピュータを活用する。

蔵書データベースを作成し、図書貸出・返却、蔵書点検には、バーコードリーダーを活用し、処理の迅速化・正確さを図る。併せて、蔵書検索、貸出統計も可能にし、図書館活用の一助とする。

(4)　進路指導の方針

高校生は、一生を通じて心身ともに発達する青年期を迎え、自我が目覚めるとともに、未来への理想を求める時期にある。その進路の設計に当たっては、客観的に自己を理解させるとともに、社会や職業についての幅広い理解に基づいて、最適な進路を選択させることが肝要である。

キャリア教育の観点に立ち、１学年から３学年までその発達段階に応じた体系的な進路指導を産業社会と人間および総合的な探究の時間と連携して行う。外部諸機関の協力の下に、各自の進路設計をしていく中での気づきや進路決定のための体験学習の機会を数多く設ける。

同時に生徒自らの真摯な努力によって、自己の成長をはかり、自らの弱点を積極的に克服し、社会の一員としての自覚を高めることが必要であることを気づかせる。

上記実現のため、各学年における進路指導目標を次のように設定する。

・　第１学年

高校生活への適応をはかり、自己理解を深めさせるとともに、社会や職業に関する理解を深めさせ、将来の進路について具体的な目標を追求する意欲をもたせる。

・　第２学年

自己理解と職業理解を統合させることにより、各自が自己の進路目標を設定し、その目標を達成するためどうしたら良いか考えさせ、併せて、実力の涵養をはかる。

・　第３学年

進路先についての状況や各自の実力を客観的に知る手立てを与え、能力・適正に応じた具体的な進路を選択させ、生徒の進路実現をはかる。

進　路　指　導　計　画

月	第　1　学　年	第　2　学　年
4	進路希望調査 基礎力診断テスト	進路希望調査 基礎力診断テスト 学年初めのオリエンテーション
5	入学オリエンテーション 進路ホームルーム	進路ホームルーム
6	基礎力診断テストふり返り 校内進路ガイダンス（進路フェスタ）	基礎力診断テストふり返り
7	進路ホームルーム	進路ホームルーム
8		オープンキャンパス
9	進路ホームルーム	進路ホームルーム
10	進路ホームルーム	進路ホームルーム
11		校内進路ガイダンス
12	進路ホームルーム（職業講話）	
1		進路ホームルーム
2	進路ホームルーム	進路ホームルーム （3 年進路選択に向けて）
3		

月	第　3　学　年	
	就　職　関　係　行　事	進　学　関　係　行　事
4	進路希望調査	進路希望調査 校内進路相談会（大学・短大・専門学校）
5	企業訪問（電話と郵送で） 進路保護者説明会、保護者向け進路講演会	進路保護者説明会、保護者向け進路講演会 大学・短大・高看模試① 公務員模試
6	進路希望調査、校内進路相談会（就職） 学校斡旋就職申込書受付 校内進路説明会（就職）、外部講師の模擬面接	
7	求人票受付開始、進路大テスト 模擬面接（就職） 求人情報一覧表配布、求人票閲覧 面接指導	オープンキャンパス 大学・短大・専門学校説明会 （指定校推薦について）
8	応募前職場見学、求人票閲覧 就職受験申込票受付 就職者模擬面接 就職校内選考、就職応募書類作成	オープンキャンパス 大学・短大・高看模試②
9	就職希望者直前指導 就職試験（全員の内定まで） 公務員試験 就職応募書類発送、就職者模擬面接	模擬面接 指定校校内選考 進学説明会（指定校推薦出願説明会） 専門学校出願開始（ＡＯ） 大学・短大総合型選抜受付開始 大学入学共通テスト受験案内配布と出願説明会
10	国家公務員試験 地方公務員試験、地方公務員試験二次試験	大学入学共通テスト出願書類受付 専門学校入試受付開始
11	国家公務員二次試験 合同求人説明会 ①	関西の看護学校入試受付開始 私大・短大推薦型選抜受付開始
12	泉大津ハローワーク体験ツアー	看護学校以外の医療関係専修学校受付開始 大学入学共通テスト受験票交付
1		関西私大入試受付開始 各国公立大で二次試験願書受付 大学入学共通テスト実施 関西の看護学校入試開始 関西の私大入試開始
2	就職セミナー 合同求人説明会 ② 就職支援登録カードの記入提出（希望者）	准看護学校・医療専修学校入試開始 国公立大前期試験実施
3		国公立大後期試験実施・私立大学後期試験実施 国公立大合格者発表

⑸　人権尊重の教育の方針

１．基本方針

自尊感情を大切にし、自他ともに尊重できる豊かな人権感覚を育み、新たな人権文化の構築に寄与できる人材の育成を目指す。

２．人権教育の発展

人権教育は、差別の現実から学ぶ教育実践をもとに同和教育としてはじまり、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送り自らの可能性を引き出すことができる教育活動・学校づくりへと発展してきた。それは、総合的な探究の時間である「グローカル・スタディーズ（ＧＳ）」として具体化され、「進路保障は人権教育の総和である」といわれてきた進路指導についてもＧＳと合わせてキャリア教育として整理された。一方、さまざまな特性のある生徒に対しカウンセリング活動を充実させ、障がいのあるなしに関わらず生徒に必要とされる支援を行う体制の整備に努めている。

総じて一人ひとりの生徒が地域や社会づくりに参画し、多少の困難があろうとも人権文化の構築を担える市民として成長できるよう、本校での学びがその下地を育む教育活動を推進する。

３．人権文化の４つの領域

ＧＳでは「自分と社会の関係をグローカルに見つめ、自分の進路を切り拓く」力を育むことを教育目標としている。これは、人権文化(culture of human rights)の４つの領域とかかわり、①自尊感情とかかわる「個の領域」、②文化や民族、障がいの有無、性的指向性が異なるなど他者との豊かな関係性を構築する「他者との関係の領域」、③社会に参画し問題解決のために行動しようとする「社会との関係の領域」、④環境問題や食や健康とかかわる「自然との関係の領域」になっている。この４つの領域を念頭に日々の教育実践を点検し、地域の課題と向き合うことによって、グローカルな教育実践を目指す。

４．人権教育の４つの側面

本校は、産業社会と人間・総合的な探究の時間や人権ＨＲをはじめ、教科指導、生活面での支援や指導など、あらゆる場面において人権教育を推進している。これは、人権教育の 4 つの側面と関連している。

①人権としての教育（教育機会の保障）

②人権についての教育（個別人権課題を通して人間に対する多面的な捉え方や文化・社会・世界に対する批判的な見方を育てる）

③人権を通じた教育（人権が尊重されている環境・雰囲気や関係性自体が人権感覚や意識を育む）

④人権のための教育（豊かな人権文化を築く資質や力量を備えた子どもを育てているか）

人権教育の 4 つの側面を総体として実践することによって人権教育の創造、すなわち、人権文化の創造をめざす。

５．人権教育とキャリア教育

人権教育においても「進路保障は人権教育の総和である」という取り組みからキャリア教育へと発展してきた。キャリア教育は、学校生活から職業生活へとスムーズな移行のために必要とされる。そのためには、社会に適応できる能力の育成だけではなく、若年労働者が厳しい労働環境におかれている現状を見るならば、「社会との関係」においても働く者の人権を尊重し、自己実現をめざす力の育成に努める。

６．いじめ防止・対策委員会

いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権に関わる重大な問題である。そのため、いじめを起こさない、生徒をいじめの被害者にも加害者にもしないという姿勢で、未然に防止することに力を入れている。全教職員が、いじめはもちろん、いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為も絶対に許さない姿勢で、どんな些細なことでも必ず親身になって相談に応じることが大切である。そのことが、いじめ事象の発生・深刻化を防ぎ、いじめを許さない生徒の意識を育成することになる。

そのためには、学校として教育活動の全てにおいて生命や人権を大切にする精神を貫くことや、教職員自身が、生徒を一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、生徒の人格のすこやかな発達を支援（いやゆる、人権を通じた教育）するという生徒観、指導観に立ち指導を徹底する。

７．教育相談

(1)　目的

生徒は、日常的に人間関係、家庭環境の悩みや漠然とした将来への不安を抱えながら学校生活を送っている。中には、コミュニケーションでの課題を抱えている生徒も在籍する。

教育相談の目的として、支援を必要とする生徒や保護者が、相談活動を通してエンパワメントされることにある。そのためにまず求められるのは、生徒一人ひとりの自尊感情を育み、いじめや人権侵害がない人間関係づくりが求められる。生徒のさまざまな不安や悩みについて相談にのり支援できる教職員および学校としての体制を整える。

(2)　相談室体制

学校の教育相談機能の充実を図るため、大阪府立高等学校スクールカウンセラー（以下「ＳＣ」）やスクールソーシャルワーカー（以下「ＳＳW」）が派遣されている。

①　人権教育推進委員が、教職員一人ひとりのカウンセリングマインドの向上のため、さまざまな情報提供や校内研修を実施する。

②　①を充実させるため、校外の研修等に積極的に参加し、実践力向上に努める。

③　生徒・保護者、教職員からの相談に応えるため、ＳＣやＳＳWの活用の充実を図る。
ＳＣとＳＳWの役割は、教職員へのコンサルテーションを基本とする。
教職員だけでは支援困難と考えられるケースについては、カウンセリングの実施や、適宜、外部機関との連携も含めたケース会議をもつことによって、生徒支援の充実を図る。

④　必要に応じて、保健部や生活指導部との連携を図り、生徒が安心して学校生活を送れる学校づくりを目指していく。

⑤　保健室に、体調不良の生徒だけでなく、精神的不安をかかえ、居場所を求めて、来室する生徒も多い。そのような生徒の居場所づくりの一環として、相談室を昼休み開放し、保健室への生徒の集中を軽減したい。

(6)　健康管理と指導の方針

１．本年度の達成目標

①　健康の意識を高め、保健的生活習慣の保持・増進をはかる。

②　安全と美化に対する意識を高め、豊かな心を育てる環境づくりをはかる。

③　熱中症や各種感染症の予防と知識の普及をはかる。

２．学校保健安全計画

(1)　学校保健計画

①　健康異常の早期発見

学校医・学校歯科医と緊密に連絡し、健康診断、健康相談の実施や、全職員の健康観察を通して健康異常の早期発見につとめ、教育上の連絡や対処を適正に行うとともに異常者には早期治療と完全治癒の態度を養うようにする。

②　自発的な健康管理

平素より保健室の効果的利用を促し、意識を高め、自ら健康管理につとめられる能力を養う。

各種の機会を通じて「活動」「休養」「栄養」のバランスよい生活リズムをつくれるよう促す。

③　環境の整備と衛生美化

学校薬剤師との連絡を密にし、環境・衛生検査を励行し、正常環境の維持につとめる。

清掃活動を励行するとともに自らのまわりを清掃する習慣・態度を養う。

保健委員、生活委員による環境美化活動を活性化し、美化意識の高揚をはかる。

④　薬物乱用防止啓発

学校保健関係者や専門家と連携し、効果的な啓発活動について具体的な取り組みについて考え、普及活動に努める。

⑤　熱中症を含む救急法の研修を計画・実施することにより、一層の安全確保に努める。又、各種感染症の発生防止のため、情報の収集や知識の普及をはかり個人の意識を高めさせる。

(2)　学校安全計画

①　安全点検を励行し、たえず危険を感じない環境づくりをはかり安全に徹した行動習慣を養う。

②　施設・用具の正しい取扱いについての知識と技能を理解習得させる。

③　危険を予測する能力を養い､危険が予測される場面で特に注意深い行動が出来る習慣態度を養う。

④　校内災害時の実態把握に努め事後処置の徹底をはかるとともに、連絡調整の万全を期す。

⑤　定期的避難訓練等の実施をおこない、非常時体制の確立をはかる。

⑥　指導者は絶えず指導監督に当たり生徒の健康観察を励行するとともに、安全に対する関心を高め災害に対する応急処置方法を周知させておく。

学 校 保 健 安 全 計 画 年 間 予 定 表

学期	月	学 校 行 事	安 全 管 理		安 全 指 導	組織活動	月間目標
			環　境	心身・生活	教科・ホームルーム 行事・生徒会部		
Ⅰ	4		清掃分担指定（保） 部活動場所割 （生徒）（体）			保健部会	
	5		校内通路点検（安） 植木の防虫（事） 防災器具点検（事）				
	6	始業式 個人面談 保護者懇談	照度検査（保） 水質検査（保） プール清掃整備（体） 環境美化週間（保）	通学方法許可（生） 結核検診（保） 身体測定（保） 心臓検診（保） 内科検診（保） 性格検査（進） 服装点検（学） 疾病治療勧告（保）	校内生活の心構え (各部)救急措置方法 授業のうけかた (各科)部活動練習 について（生徒） 心身の状態把握（学） 救急法講習会（保） 雨天時の部活動（生徒） 基本的生活習慣（生・学） 清掃の徹底（保） 水泳時の注意（体）	ＰＴＡ 保体委 校外清掃 清掃点検	「基本的週間」 「体力づくり」 「環境美化」
	7	期末考査 終業式 インターンシップ	大掃除（保） 安全点検（保） 床の油ぶき（事） 夏季空気検査（保） ダニ検査（保）	内科検診（保） 検尿一次(保) 夏期合宿前事故防止検診（保） 運動器検診（保） 薬物乱用防止啓発（保）	女子防犯（生） アルバイト旅行（生・学） 休暇中の生活（生・学）		「熱中症予防」
	8	インターンシップ 始業式	不良施設・設備の修理（事）	職員健康診断	夏季部活動（生・学） 避難訓練（保）		「通行安全」
Ⅱ	9		体育施設点検と 除草、か・ハエの駆除 環境美化週間（保） 秋季飲料水検査(保)	歯科検診（保） 服装点検（学） 内科健康相談 歯科健康相談	基本的生活習慣（生・学） 避難訓練（保）	校外清掃	「集団行動の安全」 「むし歯予防・治療」
	10	中間考査 体育祭		歯科検診（保） 薬物乱用防止教室(保) 内科健康相談 歯科健康相談	集団の行動（学）	清掃点検	「食中毒予防」
	11	文化(伯太祭) 保護者懇談 期末考査(2 年)	暖房器具点検（事） 照度検査（保）	歯科検診（保） 歯科健康相談	物品の管理（学・各部）	校外清掃 ＰＴＡ 保体委	「環境美化」

	12	修学旅行(2年) 期末考査 (1,3年) 終業式	大掃除（保） 安全点検（保）	服装点検（学） 性教育講演会 修学旅行前・冬期合宿前事故防止検診（保）	アルバイト、旅行（生） 交通安全指導（生） 休暇中の生活（生・学） 冬季部活動（生）		「AIDS 啓発」
Ⅲ	1	始業式 スポーツ大会 (3年) 学年末考査 (3年)	大掃除（保） 清掃分担変更（保） 運動場砂じん措置（体）	内科健康相談 歯科健康相談	教室の換気（保・各科）	校外清掃 学校保健委員会	「感染予防」
	2	スポーツ大会 (1,2年) 学年末考査 (1,2年)	植木の手入（事） 冬期空気検査（保） 大掃除（保） 安全点検（保）	服装点検（学）	体力づくり（体） 集団の行動（学） 基本的生活習慣（生・学）	校外清掃	「環境美化」
	3	卒業式 終業式	教室教具の整備（事） 清掃用具の整備	春期合宿前事故防止検診（保）	交通安全指導（生） 休暇中の生活（生・学） 部活動練習（生徒）	清掃点検	

(7) 学校組織の運営方針

１．本年度の課題

(1) 多様化する生徒に対応して教育効果を高めるため、校務内容を整理するとともに、校内組織の活性化と校務処理の適正化をはかる。校内研修の充実に努めるとともに校長のリーダーシップの下、教職員の意志統一と共通理解をいっそう深め、「自らが学び、考え、表現し、主体的に行動できる力」を育てる教育活動を展開する。

(2) 学校運営協議会の意見や「学校教育自己診断」「授業アンケート」等を参考にし、「学校経営計画」について必要に応じて計画や方策を修正する。

(3) 各学年・分掌・教科等および教職員個人において年度の取組みを年度末に総括し、成果と課題を明らかにし、次年度に向けて改善計画を策定する。

(4) 本校の教育活動を充実させるとともに、外部への情報発信に努める。

(5) 家庭との連絡を密にし、学校に対する諸要望に即応する姿勢を確立し、また、中学校および地域との連携により、本校を地域に根ざした高等学校と位置づけることで、教育効果の向上を期す。

(6) ＰＴＡ、後援会、同窓会等の教育力を最大限に活用して、生徒が充実した学校生活を送れるようにするとともに、部活動の活性化を図る。

２．施設及び設備の管理計画

(1) 教室及び管理室ごとに管理者を定め、使用後のあと始末と戸締りを徹底するとともに、火気取り扱いには特に注意を払い、保全と活用の調和に努める。

(2) 定期的に電気設備・消防設備の保守点検を実施するとともに、防災とあわせて施設・設備の保全について万全を期す。

(3)　避難訓練・防災訓練を適切に実施し、万一に備える。

(4)　校舎内外の清掃に留意するとともに、施設・設備等について、ものを大切にする心を養い、全教職員による定期的な安全点検を実施し、生徒の安全確保に努める。

(5)　天災等、非常変災に対処するための施設および設備の保全については、別に学校防災計画を策定し、定められた任務役割に従って教職員が互いに協力して保全に努める。

(8)　教職員の研修方針・研修計画

１．本年度の重点目標

学校の総合的な教育力を高めるために、教職員研修を充実させる。生徒の置かれている生活実態に学び、生徒の人権感覚を育むために、教職員の人権諸問題への認識を深めていく。生徒の学力保障の観点から、生徒のつまずき（留年や中退）の分析に努め、SC、SSW を活用した教育相談機能の充実やキャリア教育のより一層の推進を図っていく。また、経験の少ない若手教員が増える中、学校で起こりうるさまざま問題に対処できるように研修の充実を図る。特に次年度からの観点別評価の実施のため、全教員が施行に取り組み、全体研修により、適切な観点別評価の実施方法を研究する。

２．年間計画

4 月　　新転任教職員オリエンテーション・情報モラル

5 月　　人権研修（教育相談）

5 月　　個人情報の保護、服務

5 月　　観点別評価（各教科の進捗状況共有）

5 月　　救急法（AED）

7 月　　観点別評価（各教科の進捗）

10 月　　観点別評価（次年度施行に向けて）

10 月　　人権研修　（同和問題）

12 月　　観点別評価　（次年度施行に向けて）

1 月　　総合学科の振り返りと新カリキュラムに向けて

3 月　　観点別評価　（次年度施行に向けて）

2　校 務 分 掌

(1)　校 務 分 掌 表

- 校長（大崎）
  - 教頭（北出）
    - 庶務・図書部（細川）
      - 総務 ---------- 細川
      - 式典 ---------- 松原・梅木・岡本・中井・鳥井・細川
      - 同窓会 ---------- 細川
      - 図書館システム管理---- 細川・松原・清水・中井
      - 生徒図書委員会-------- 鳥井・瀬川
      - 図書館運営・図書選定 - 全員
      - ＰＴＡ主担 ---------- 細川・鳥井・瀬川・梅木
      - ＰＴＡ専門委員会 ----- 研修（梅木・岡本・中井） 保健体育（鳥井・松原） 広報（細川・瀬川・清水）
      - ＰＴＡ学級委員会 ----- １年（梅木） ２年（瀬川） ３年（鳥井）
      - 広報 ---------- 細川・清水・全員
      - 合格者手引 ---------- 中井・細川
    - 教務部（水落）
      - 連絡調整・渉外 ------- 水落
      - 入試 ---------- 水落・黒木
      - 学年主担 ---------- 尾崎・高嶋・黒木
      - 教科書 ---------- 金井・田中昭・真下
      - 時間割作成 ---------- 全員
      - 指導要録 ---------- 金井・田中昭・真下
      - 校務処理システム ----- 金井・田中昭・真下・水落
      - 考査 ---------- 全員
      - 内規 ---------- 水落・金井
      - 学校教育計画 --------- 田中昭・真下
      - 学級編成 ---------- 尾崎・高嶋・黒木
    - 生徒指導部（白木原）
      - 遅刻 ---------- 黒田・岡谷・細井
      - 身だしなみ ---------- 横山・山本・山田・吉松・林堂・北浦
      - 当番・書類 ---------- 亀田・前田・北浦
      - 生徒相談 ---------- 学年主任・各担任
    - 進路指導部（小川）
      - 就職指導 ---------- 小川・松山・滋野・廣澤
      - 進学指導 ---------- 小川・望月・友井・田中裕・柏木・前薗・坂本・齋藤
      - 看護指導 ---------- 小川・友井・柏木・坂本・齋藤
      - 郵便物・受付処理 ----- 小川・松山・吉川
      - 中高連携 ---------- 小川
      - インターンシップ ----- 滋野・廣澤
      - 高大連携 ---------- 小川
      - 情報 ---------- 小川・望月・柏木・前薗
    - 保健部（早川）
      - 生徒委員会活動 ------- 藤原・中村友
      - 日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ------ 井浦・津村
      - 環境・美化 ---------- 川北・木戸
      - 行事・安全 ---------- 藤原・中村友
      - 健康診断 ---------- 井浦・津村
      - 総務 ---------- 早川
    - 生徒会指導部（洞）
      - 体育祭 ---------- 飯森・森口・洞
      - 伯太祭（文化祭）------ 洞・畑谷
      - 部活動・役員選挙 ----- 福壽・竹谷・國府・中村愛・洞
      - 生徒会役員指導 ------- 洞・中村愛・國府
      - 会計 ---------- 畑谷
      - 和泉支援学校交流 ----- 中村愛
      - ブルーミントン交流 --- 畑谷
    - 人権教育推進委員会（中村友） ---------- 教頭・小川・金井・藤原・山本（支援担当）、前田、瀬川（SSW担当）
      望月・岡本・中村友（支援・SC担当）・白木原（生指部長）・井浦（養護教諭）
    - ＩＣＴ係（成京）
      - ホームページ・ブログ-- 全員（成京・小坂家・岩田）
      - メールマガジン-------- 全員
      - 入試---------- 成京・小坂家
      - 校務処理システム------ 全員
      - アカウント管理-------- 全員
      - 機器管理---------- 全員
      - Google Workspace Education- 全員
      - 職員会議---------- 全員
  - 事務長（津田）
    - 生徒の諸証明 --------- 石橋
    - 職員服務 ---------- 八木
    - 職員の諸給与・被服 --- 八木
    - 共済・互助 ---------- 八木
    - 生徒の異動・在籍 ----- 津田
    - 授業料・検定料 ------- 津田
    - 旅費 ---------- 八木
    - 文書・郵便 ---------- 八木
    - 備品 ---------- 石橋
    - 消耗品費 ---------- 石橋
    - 校舎修繕・工事費等 --- 八木
    - 私費会計 ---------- 津田
    - 校舎等の維持管理 ----- 津田・（長野）
    - 就学支援金、奨学給付金 八木・石橋・津田

・運営委員会　　校長、教頭、事務長、首席、学年代表(3)、各部代表、
人教委代表、ＩＣＴ係主担

(2)　学年主任、ホームルーム担任一覧表

学年	1				2				3			
代表	金井				前田				望月			
学級	生徒数			担任	生徒数			担任	生徒数			担任
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1	21	17	38	黒　田	14	24	38	山　田	14	22	36	飯　森
2	21	16	37	尾　崎	14	25	39	髙　嶋	14	22	36	鳥　井
3	16	21	37	梅　木	14	25	39	瀬　川	13	22	35	友　井
4	15	22	37	藤　原	14	25	39	畑　谷	13	22	35	黒　木
5	16	21	37	福　壽	14	24	38	田中裕	14	21	35	中村友
6	16	21	37	坂　本	14	25	39	岡　谷	14	22	36	北　浦
7												
計	105	118	223		84	148	232		82	131	213	

生徒総数　　男子 271 人　　女子 397 人　　計 668 人

(3)　生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表

生徒会活動担当者一覧表

活動名	事業名	担当者
生徒会活動	体育祭	洞・飯森・森口
	伯太祭（文化祭）	洞・畑谷
	部活動・役員選挙	福壽・竹谷・國府・中村愛・洞
	生徒会役員指導	洞・中村愛・國府
	会計	畑谷
	和泉支援学校交流	中村愛
	ブルーミントン交流	畑谷

部活動担当者（顧問）一覧表

部活動・同好会		部員数（2021(R3)年4月30日現在）								顧問教員
		１年		２年		３年		合計		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
運動系	剣道	1	0	1	0	0	0	2	0	梅木・清水・井浦・高嶋
	硬式野球	0	0	7	2	6	1	13	3	畑谷・山田・小川・横山
	サッカー	3	0	5	3	0	0	8	3	細川・金井・友井・田中昭・齋藤
	柔道	0	0	1	0	1	0	2	0	黒田・早川・水落
	女子ソフトボール	0	1	0	4	0	1	0	6	中村友・白木原・梅木・小坂家
	卓球	0	0	0	0	1	0	1	0	廣澤・川北・木戸・真下・滋野・津村
	硬式テニス	0	1	2	0	1	0	3	1	飯森・中井・中村愛
	男子バスケットボール	0	0	2	0	5	2	7	2	堀部・松山・岩田
	女子バスケットボール	0	1	0	0	0	2	0	3	北浦・黒田・細井
	バドミントン	0	0	3	1	0	1	3	2	森口・瀬川・神谷・亀田
	バレーボール	3	0	2	0	2	3	7	3	山本・岡本・吉松
	陸上競技	0	2	3	2	2	0	5	4	岡谷・前田・國府・松原・吉川・細川
（小計）		7	5	26	12	18	10	51	27	
文化系	演劇	0	0	0	4	0	0	0	4	黒木・小川・友井・田中昭
	ガラス工芸	0	0	0	2	0	2	0	4	坂本・横山・中村愛
	ギターアンサンブル	0	0	0	0	2	3	2	3	望月・井浦・前田
	軽音楽	0	1	1	4	6	11	7	16	尾崎・白木原・細井・小坂家
	コンピューター	0	0	0	2	1	0	1	2	成京・岩田・水落
	茶道	0	0	0	1	0	0	0	1	田中裕・中井・滋野・木戸
	写真	0	0	0	1	1	0	1	1	林堂・山田・前薗
	書道	0	1	0	0	1	0	1	1	福寿・真下・津村
	吹奏楽	0	0	1	1	0	4	1	5	洞・金井
	ダンス	1	5	0	6	0	14	1	25	鳥井・瀬川・高嶋
	天文	0	0	0	0	0	0	0	0	國府
	図書	0	0	1	0	0	1	1	1	藤原・神谷・松原・吉川
	美術	0	0	0	3	0	2	0	5	竹谷・早川・清水・齋藤
	文芸	0	0	0	3	0	1	0	4	柏木・川北・亀田
	放送	0	0	0	1	0	1	0	2	松山・岡本・吉松
	メーキング	0	0	0	0	0	0	0	0	前薗
（小計）		1	7	3	28	11	39	15	74	
合計		1	7	29	40	29	49	66	101	
		20		69		78		167		

令和３年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

４ 月

日	曜日	行事
1	木	辞令 職員室移動 原留生引継 職会 教科会 新転任ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ1
2	金	分掌会議 系列会議 新転任ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ2
3	土	
4	日	
5	月	運営委 職会
6	火	教職員㊀情報モラル研修
7	水	
8	木	始業式・入学式 進路アンケート ㊁㊂GsuiteHR登録
9	金	㊀GS1ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 基礎力診断テストPM授業
10	土	PTA新旧役員 実行委員会
11	日	
12	月	pmクラブ紹介
13	火	pm㊀㊁㊂内科検診 ㊀Gsuite HR登録 ＋㊁㊂身体測定 40x7限
14	水	新入生検診
15	木	pmクラブ体験
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	臨時休校
20	火	㊂生徒情報交換
21	水	㊂生徒情報交換
22	木	㊂進路HR① ㊀歯科検診・聴力検査 (進路説明会_就職面接練習1)
23	金	㊀生徒情報交換
24	土	
25	日	
26	月	食物アレルギー対策委員会
27	火	
28	水	府育英会奨学金説明会(放課後)
29	木	昭和の日
30	金	㊀情報モラルHR 運委

40分授業

防災週間

小計		学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日	(14|14|14)
	学校行事日	(1|1|1)
	休業日	(15|15|15)

５ 月

日	曜日	行事
1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	㊀身体測定 ㊂PM歯科検診 聴力検査 職会
7	金	
8	土	50×4 進路保護者説明会・就職保護者説明会・模試
9	日	
10	月	5/8代休
11	火	内科欠席者検診
12	水	臨時休校
13	木	㊀薬物乱用防止HR
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	㊂日本学生支援機構奨学金説明会
19	水	検尿1次① ㊂日本学生支援機構奨学金説明会
20	木	検尿1次② am授業 食物アレルギー委員会教職員人権研修・進路報告会
21	金	中間1
22	土	
23	日	
24	月	中間2 運委
25	火	中間3
26	水	中間4 部活動生救急法講習会 同窓会幹事会
27	木	㊂PM歯科検診 職会
28	金	英検
29	土	
30	日	
31	月	

㊁㊂授業内考査

企業訪問1

小計		学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日	(17|17|17)
	学校行事日	(0|0|0)
	休業日	(14|14|14)

６ 月

日	曜日	行事
1	火	am心臓検診2次 運動器検診
2	水	成績入力
3	木	検尿2次①
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	㊂進路HR①
11	金	地域見学会
12	土	40×4 学校協議会
13	日	
14	月	
15	火	運委
16	水	㊂学校就職申込〆
17	木	㊀㊁交通安全講和 ㊂薬物乱用防止HR 歯科欠席者検診 ㊂学校紹介就職説明会 歯科欠席者検診 職会
18	金	検尿2次② ㊂運動部拡大校外清掃
19	土	
20	日	
21	月	㊂就職生自己PR指導1
22	火	㊂就職生自己PR指導2
23	水	㊂50×4 pm就職面接練習2 同窓会総会
24	木	㊀進路HR ㊀薬物乱用防止HR
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	遅刻指導強化日

40x6保護者懇談

㊁㊂授業内考査

㊀科目選択予備調査

小計		学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日	(22|22|22)
	学校行事日	(0|0|0)
	休業日	(8|8|8)

令和３年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

7 月

日	曜日	行事	
1	木	23年am授業 歯科健康相談	㊀科目選択予備調査
2	金	期末1	
3	土		
4	日		
5	月	期末2	
6	火	期末3	
7	水	期末4	
8	木	期末5 ㊂求人情報交換会①	
9	金	期末6 ㊂求人票説明会① 夏合宿前検診・事故防止検診	
10	土		
11	日		
12	月	50×6 ㊂㊂4限情報モラル(体育館) ㊀㊀大学見学説明会 ㊂求人情報交換会②	クラブウィーク
13	火	50×6 ㊂求人票説明会②	
14	水	50×6 教科会議	
15	木	成績入力 ㊂応募前職場見学申込〆 人権学習(㊀レジリエンス1㊂多文化共生講演)	
16	金	成績会議 運委 ㊂人権学習(デートDV講演) ㊂進学説明会	
17	土	PTA総会・PTA専門委員会 ・役員実行委員会	
18	日		
19	月	職会	
20	火	㊀㊀大学見学会	
21	水	終業式+2限＋大清掃 ㊂就職生進路大テスト 転入考査受付①	
22	木	海の日	
23	金	スポーツの日	
24	土		
25	日		
26	月	㊂就職生登校日(応募前職場見学説明会) 転入考査受付②	応募前職場見学
27	火	㊂就職セミナー	
28	水	転入考査	
29	木		
30	金		
31	土		

小計	
	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (15|15|15)
	学校行事日 (0|0|0)
	休業日 (16|16|16)

8 月

日	曜日	行事	
1	日	公立高校進学フェア	応募前職場見学
2	月	夏期特別講習①	
3	火	夏期特別講習②	
4	水	夏期特別講習③	
5	木		
6	金		
7	土		
8	日	山の日	
9	月	振替	
10	火		
11	水		
12	木		学校休業日
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火	㊂求人票閲覧日	
18	水	㊂就職生登校日_予備調査〆	
19	木	㊂就職生登校日_本調査〆	
20	金	㊂就職校内選考1	
21	土	旧第4学区合同説明会	
22	日		
23	月		
24	火	㊂就職生本調査2〆	
25	水	始業式+2限 運委 ㊂就職校内選考2	清掃強化 / 50×4
26	木	㊂指定校推薦説明会 ㊂就職面接練習3_1 職会	
27	金	40x4 模試 ㊂就職面接練習3_2 pmオープンスクール1(体験授業)	
28	土		
29	日		
30	月	職員健康診断(午後) ㊂就職試験説明会	50×4
31	火	㊂pm就職面接練習4_1	

小計	
	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (5|5|5)
	学校行事日 (0|0|0)
	休業日 (26|26|26)

9 月

日	曜日	行事	
1	水	㊂指定校申込1〆 ㊂pm就職面接練習4_2	50×4
2	木	㊂pm就職面接練習5_1	
3	金	㊂pm就職面接練習5_2 就職書類発送	
4	土	PTA役員・実行委員会	
5	日		
6	月	㊂指定校校内選考1	
7	火	内科健康相談	
8	水		
9	木	1年歯科健康相談	
10	金	㊂指定校出願説明会1 ㊂指定校申込2〆	
11	土		
12	日		
13	月	運委	㊀科目選択本調査①
14	火		
15	水		
16	木	㊀進路HR③ 職会	
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火	㊂指定校校内選考2	
22	水	㊂指定校出願説明会2	
23	木	秋分の日	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	㊂進学面接練習1_1	
29	水	㊂進学面接練習1_2	
30	木	50x3+集会 pm体育祭準備 単位認定会議(インターンシップ)	

小計	
	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (20|20|20)
	学校行事日 (0|0|0)
	休業日 (10|10|10)

令和３年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

１０ 月

日	曜日	行 事
1	金	体育祭 ㊀科目調査本調査締切① ㊁選択科目変更希望締切
2	土	
3	日	
4	月	体育祭予備①
5	火	体育祭予備② 内科健康相談 ㊂進学面接練習2
6	水	
7	木	2年歯科健康相談
8	金	英検
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	遅刻指導強化日
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	中間1 運委
19	火	中間2
20	水	中間3
21	木	中間4 職会
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	成績入力
29	金	㊁文化部拡大校外清掃
30	土	
31	日	

授業内考査

中学校訪問

小 計	
	学年（1年|2年|3年）
	教科・科目の授業日（20|20|20）
	学校行事日（1|1|1）
	休業日（10|10|10）

１１ 月

日	曜日	行 事
1	月	
2	火	
3	水	文化の日
4	木	3年歯科健康相談
5	金	
6	土	ｵｰﾌﾟﾝｽｸｰﾙ2 学校協議会
7	日	
8	月	
9	火	修学旅行前検診（冬合宿）
10	水	
11	木	50×4，5限目文化祭準備
12	金	伯太祭
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	校内一斉清掃 運委
17	水	同窓会幹事会
18	木	㊀性教育講演（2H） 職会
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	勤労感謝の日
24	水	
25	木	㊀進路HR⑥（職業理解、職業観） ㊁進路ガイダンス
26	金	PTA専門委員会・学級委員会
27	土	
28	日	
29	月	遅刻指導強化日 食物アレルギー対策委員会
30	火	2年3年am授業

清掃強化週間

40×6

授業内考査

小 計	
	学年（1年|2年|3年）
	教科・科目の授業日（19|19|19）
	学校行事日（1|1|1）
	休業日（10|10|10）

１２ 月

日	曜日	行 事
1	水	期末1 ㊀am授業
2	木	期末2
3	金	期末3
4	土	
5	日	
6	月	期末4
7	火	期末5
8	水	期末6 歯科健康相談 ㊁就職内定者説明会①
9	木	答案返却1 職員研修
10	金	答案返却2
11	土	
12	日	
13	月	教科会
14	火	㊁結団式 成績入力〆切
15	水	㊁修学旅行1
16	木	㊁修学旅行2 転入考査受付①
17	金	㊁修学旅行3 転入考査受付②
18	土	㊁修学旅行4
19	日	
20	月	㊁代休
21	火	内科健康相談 成績会議
22	水	運委
23	木	生徒会選挙 職会
24	金	終業式+2限＋大清掃 転入考査
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

成績不振者懇談

学校休業日

小 計	
	学年（1年|2年|3年）
	教科・科目の授業日（18|14|18）
	学校行事日（0|4|0）
	休業日（13|13|13）

令和３年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

１ 月

日	曜日	行 事
1	土	学校休業日
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	始業式+2限 運営委員会 職会
12	水	
13	木	㊀進路HR①(適性検査) ㊁人権学習(障がい理解講演) ㊂人権学習(レジリエンス)
14	金	英検
15	土	PTA役員・実行委員会
16	日	
17	月	清掃強化週間
18	火	
19	水	
20	木	課題研究全体発表
21	金	学校保健委員会
22	土	オープンスクール3 模試
23	日	
24	月	
25	火	㊂am授業
26	水	㊂学年末1
27	木	㊂学年末2 ㊂基礎力診断テスト2＋pm授業
28	金	㊂学年末3
29	土	
30	日	
31	月	㊂学年末4 運委

小 計	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (15|15|15)
	学校行事日 (0|0|0)
	休業日 (16|16|16)

２ 月

日	曜日	行 事
1	火	㊂学年末5
2	水	㊂学年末6 ＋㊂大掃除 ㊂就職内定者説明会②
3	木	人権学習(㊀㊁レジリエンス2・3) 職会
4	金	㊂答案返却日 教科会議
5	土	
6	日	
7	月	㊂成績提出16:00
8	火	㊂学年成績会議
9	水	㊂卒業判定会議 単位認定会議
10	木	㊀進路HR②(適性振り返り) ㊂欠単位等申し渡し
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	事故防止検診(春合宿前)
16	水	遅刻指導強化日
17	木	㊂am授業
18	金	㊀am授業 ㊁学年末1 ㊂追認判定
19	土	
20	日	
21	月	㊀㊁学年末2
22	火	㊀㊁学年末3
23	水	天皇誕生日
24	木	㊀㊁学年末4
25	金	㊀㊁学年末5
26	土	学校協議会
27	日	
28	月	㊀㊁学年末6＋㊀㊁大掃除 卒業式予行

3年追認指導

入試直前相談会

R3年度年間「登校」日数(予定)(189 | 189 | 173)

R3年度年間「授業」日数(予定)(184 | 180 | 168)

小 計	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (18|18|3)
	学校行事日 (0|0|1)
	休業日 (10|10|24)

３ 月

日	曜日	行 事
1	火	卒業式
2	水	㊀㊁答案返却日
3	木	教科会議
4	金	成績提出
5	土	
6	日	
7	月	㊀㊁成績学年会議 運営委・職会 単位認定会議(㊁数・英) 進級判定会議
8	火	am㊀㊁欠単位等申し渡し pm学検会場準備・問題送達
9	水	入学者選抜試験
10	木	採点
11	金	採点
12	土	
13	日	
14	月	採点予備
15	火	終業式 新㊂㊂教科書販売
16	水	合格者決定・特別点検 発表準備
17	木	合格発表、合格者説明会
18	金	中学校訪問
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	(中学校訪問) 転入考査受付
23	水	新クラス分け 転入考査 二次出願・面接
24	木	新クラス名簿提出締切(事務)
25	金	二次発表
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

入試受付

生徒登校禁止

小 計	学年 (1年|2年|3年)
	教科・科目の授業日 (1|1|0)
	学校行事日 (2|2|1)
	休業日 (28|28|30)

令和 3 年度 大阪府立　伯太　高等学校

全日制の課程　総合学科　教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科		入学年度	3				備　考
		学級数	6				
		年次 / 科目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	
学校必修科目	国語	国語総合	5			10	
		現代文B		3	2		
	地理歴史	世界史A			2	4	○から1科目選択
		日本史A		2○			
		地理A		2○			
	公民	現代社会	2			2	
	数学	数学Ⅰ	4			6	
		数学A		2			
	理科	科学と人間生活		2		4	
		化学基礎	2				
	保健体育	体育	3	2	2	9	
		保健	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2	●から1科目選択
		美術Ⅰ	2●				
		書道Ⅰ	2●				
	外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	4			9	
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ		3	2		
	家庭	家庭基礎	2			2	
	情報	社会と情報	2			2	
	小計		27	15	8	50	
原則履修科目	学 総合	㈜産業社会と人間	2			2	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅠ)
	小計		2			2	
学校必修科目合計			29	15	8	52	
総合学科選択科目合計			0～1	12～13	20～21	32～35	
教科・科目の計			29～30	27～28	28～29	84～87	(集中講座を含む)
総合的な探究の時間			0	2	1	3	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅡ・Ⅲ)
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総計			30～31	30～31	30～31	90～93	(集中講座を含む)

2　系列別表

総合学科選択科目

総合選択科目

系列	教科	科目	単位	備考	履修単位数計
IT・サイエンス	理科	㈜理科レポート入門	2	2年	0～22
		㈜スペースアドベンチャー	2	2年	
		㈜理科レポート実践	2	3年※	
	［専門］情報	㈜ITビジネス基礎	2	2年	
		㈜プレゼンテーション基礎	2	2年	
		㈜表計算・文書作成基礎	2	2年3年	
		㈜表計算・文書作成応用	2	3年	
		㈜プログラミング	2	3年	
		㈜ITビジネス	2	3年	
		㈜マルチメディア	2	3年	
		㈜情報演習	2	3年※	
ビジネス・観光	国語	㈜古典の世界	2	2年	0～24
		㈜古典探訪	2	3年	
	地理歴史	㈜世界史演習	2	3年	
		㈜社会科課題研究	2	3年※	
	公民	政治・経済	2	3年	
		㈜時事問題	2	2年3年	
		㈜多文化理解	2	3年	
	商業	ビジネス基礎	2	2年	
		マーケティング	2	3年	
		簿記	2	3年	
	学 観光	㈜観光Ⅰ	2	2年	
		㈜観光Ⅱ	2	3年※	
ライフスタイル	芸術	音楽・美術・書道Ⅱ	2	2年　Ⅰ科目履修者	0～32
		音楽・美術・書道Ⅲ	2	3年　Ⅱ科目履修者	
		㈜キーボード演習Ⅰ	2	2年3年	
		㈜キーボード演習Ⅱ	2	3年	
		㈜楽典	2	3年※	
		㈜造形表現	2	2年	
		㈜美術表現	2	3年※	
		㈜実用書Ⅰ	2	2年3年	
		㈜実用書Ⅱ	2	3年	
		㈜書作品制作論演習	2	3年※	
		㈜色彩	2	3年	
	［専門］家庭	子どもの発達と保育	2	2年3年	
		服飾手芸	2	3年※	
		食文化	2	3年	
		㈜食品の安全と衛生	2	2年	
		㈜栄養理論	2	2年3年	
		㈜消費者経済学	2	3年	
	福祉	社会福祉基礎	2	2年	
		介護福祉基礎	2	3年	
		㈜社会福祉演習	2	3年※	
	体育	㈜レクリエーション	2	3年	
		㈜ダンス	2	3年※	
スポーツ	体育	㈜保健体育理論Ⅰ	2	2年	0～8
		㈜保健体育理論Ⅱ	2	3年※	
		㈜アスリート	2	2年	
		㈜ライフロングスポーツ	2	3年	
文理探究	国語	㈜文学概論	2	2年	0～22
		㈜国語演習	2	2年	
		㈜文学研究	2	3年※	
		㈜国語探究	2	3年	
	数学	㈜数学探究	2	2年	
		㈜数学課題研究	2	3年※	
	理科	㈜化学セミナー	2	3年	
		㈜生物セミナー	2	3年	
	外国語	㈜英語演習	2	2年	
		㈜英語探究	2	3年	
		㈜Advanced English Ⅰ	2	2年	
		㈜Advanced English Ⅱ	2	3年	
		㈜イングリッシュワークショップ	2	3年※	

自由選択科目

教科	科目	単位	備考
国語	㈜古典セミナー	2	3年
	㈜国語の表現	2	2年3年
地理歴史	日本史B	4	2･3年継続
	地理B	4	2･3年継続
	㈜日本史演習	2	3年
	㈜地理演習	2	3年
公民	倫理	2	3年
	㈜教養の社会	2	2年
	㈜公民演習	2	2年
数学	数学Ⅱ	4	2年
	数学Ⅲ	4	3年
	数学B	2	2年
	㈜実践数学Ⅰ	2	2年
	㈜活用数学	2	2年
	㈜実践数学ⅠA	2	3年
	㈜発展数学ⅠA	2	3年
	㈜発展数学Ⅱ	2	3年
	㈜発展数学B	2	3年
	㈜活用数学セミナー	2	3年
	㈜人物で学ぶ数学史	2	3年
理科	物理基礎	2	2年
	物理	2	3年　物理基礎履修者
	化学	4	2･3年継続
	生物基礎	2	2年
	生物	2	3年　生物基礎履修者
	地学基礎	2	2年
	㈜環境科学	2	2年
	㈜生活の理科	2	2年
	㈜人体のふしぎ	2	2年
	㈜実用理科	2	2年
	㈜理科ニュース	2	2年3年
	㈜人体生理学	2	3年
	㈜生命科学	2	3年
芸術	㈜デッサン演習	2	2年3年
外国語	英語会話	2	2年3年
	㈜News in English	2	2年
	㈜実用英語基礎	2	2年3年
	㈜実用英語応用	2	3年
［共通］家庭	㈜生活技術	2	2年
体育	㈜フィットネススタディー	2	3年
英語	英語表現	2	3年
学 総合	㈜インターンシップ	1･2	1年2年(就)　集中講座
	㈜就職講座	1	3年　集中講座
学 国際文化	㈜韓国・朝鮮語Ⅰ	2	2年
	㈜韓国・朝鮮語Ⅱ	2	3年
履修単位数計		0～33	
総合学科選択科目履修単位数計		32～35	但し、集中講座取得者以外は、32単位

※は課題研究科目で必ず１科目履修する。

令和 3 年度 大阪府立　伯太　高等学校

全日制の課程　総合学科　教育課程実施計画

1 総表（教科・科目等履修単位数）

教科		入学年度	2				備　考
		学級数	6				
		年次 / 科目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	
学校必修科目	国語	国語総合	5			10	
		現代文B		3	2		
	地理歴史	世界史A			2	4	○から1科目選択
		日本史A		2○			
		地理A		2○			
	公民	現代社会	2			2	
	数学	数学Ⅰ	4			6	
		数学A		2			
	理科	科学と人間生活		2		4	
		化学基礎	2				
	保健体育	体育	3	2	2	9	
		保健	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2	●から1科目選択
		美術Ⅰ	2●				
		書道Ⅰ	2●				
	外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	4			9	
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ		3	2		
	家庭	家庭基礎	2			2	
	情報	社会と情報	2			2	
	小計		27	15	8	50	
原則履修科目	学 総合	㈜産業社会と人間	2			2	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅠ)
	小計		2			2	
学校必修科目合計			29	15	8	52	
総合学科選択科目合計			0～1	12～13	20～21	32～35	
教科・科目の計			29～30	27～28	28～29	84～87	(集中講座を含む)
総合的な探究の時間			0	2	1	3	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅡ・Ⅲ)
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総計			30～31	30～31	30～31	90～93	(集中講座を含む)

2 系列別表

総合学科選択科目

総合選択科目

系列	教科	科目	単位	備考	履修単位数計
IT・サイエンス	理科	㈜理科レポート入門	2	2年	0～22
		㈜スペースアドベンチャー	2	2年	
		㈜理科レポート実践	2	3年※	
	［専門］情報	情報産業と社会	2	2年	
		情報の表現と管理	2	2年	
		㈜表計算・文書作成基礎	2	2年3年	
		㈜表計算・文書作成応用	2	3年	
		㈜プログラミング	2	3年	
		㈜ITビジネス	2	3年	
		㈜マルチメディア	2	3年	
		㈜情報演習	2	3年※	
ビジネス・観光	国語	㈜古典の世界	2	2年	0～24
		㈜古典探訪	2	3年	
	地理歴史	㈜世界史演習	2	3年	
		㈜社会科課題研究	2	3年※	
	公民	政治・経済	2	3年	
		㈜時事問題	2	2年3年	
		㈜多文化理解	2	3年	
	商業	ビジネス基礎	2	2年	
		マーケティング	2	3年	
		簿記	2	3年	
	学 観光	㈜観光Ⅰ	2	2年	
		㈜観光Ⅱ	2	3年※	
ライフスタイル	芸術	音楽・美術・書道Ⅱ	2	2年 Ⅰ科目履修者	0～32
		音楽・美術・書道Ⅲ	2	3年 Ⅱ科目履修者	
		㈜キーボード演習Ⅰ	2	2年3年	
		㈜キーボード演習Ⅱ	2	3年	
		㈜楽典	2	3年※	
		㈜基礎造形	2	2年	
		㈜表現の研究	2	3年※	
		㈜実用書	2	2年3年	
		㈜デザイン書	2	3年※	
		㈜色彩	2	3年	
	［専門］家庭	子どもの発達と保育	2	2年3年	
		服飾手芸	2	3年※	
		食文化	2	3年	
		㈜食品の安全と衛生	2	2年	
		㈜栄養理論	2	2年3年	
		㈜消費者経済学	2	3年	
	福祉	社会福祉基礎	2	2年	
		介護福祉基礎	2	3年	
		㈜社会福祉演習	2	3年※	
	体育	㈜レクリエーション	2	3年	
		㈜ダンス	2	3年※	
スポーツ	体育	㈜スポーツコンディショニング	2	2年	0～8
		㈜アスリートⅠ	2	2年	
		㈜アスリートⅡ	2	3年※	
		㈜ライフロングスポーツ	2	3年	
文理探究	国語	㈜文学概論	2	2年	0～22
		㈜国語演習	2	2年	
		㈜文学研究	2	3年※	
		㈜国語探究	2	3年	
	数学	㈜数学探究	2	2年	
		㈜数学課題研究	2	3年※	
	理科	㈜化学セミナー	2	3年	
		㈜生物セミナー	2	3年	
	外国語	㈜英語演習	2	2年	
		㈜英語探究	2	3年	
		㈜Advanced English Ⅰ	2	2年	
		㈜Advanced English Ⅱ	2	3年	
		㈜イングリッシュワークショップ	2	3年※	

自由選択科目

教科	科目	単位	備考
国語	㈜古典セミナー	2	3年
	㈜国語の表現	2	2年3年
地理歴史	日本史B	4	2・3年継続
	地理B	4	2・3年継続
	㈜日本史演習	2	3年
	㈜地理演習	2	3年
公民	倫理	2	3年
	㈜教養の社会	2	2年
	㈜公民演習	2	2年
数学	数学Ⅱ	4	2年
	数学Ⅲ	4	3年
	数学B	2	2年
	㈜実践数学Ⅰ	2	2年
	㈜活用数学	2	2年
	㈜実践数学ⅠA	2	3年
	㈜発展数学ⅠA	2	3年
	㈜発展数学Ⅱ	2	3年
	㈜発展数学B	2	3年
	㈜活用数学セミナー	2	3年
	㈜人物で学ぶ数学史	2	3年
理科	物理基礎	2	2年
	物理	2	3年 物理基礎履修者
	化学	4	2・3年継続
	生物基礎	2	2年
	生物	2	3年 生物基礎履修者
	地学基礎	2	2年
	㈜環境科学	2	2年
	㈜生活の理科	2	2年
	㈜人体のふしぎ	2	2年
	㈜実用理科	2	2年
	㈜理科ニュース	2	2年3年
	㈜人体生理学	2	3年
	㈜生命科学	2	3年
芸術	㈜毎日デザイン	2	2年3年
	㈜ペン字	2	3年
外国語	英語会話	2	2年3年
	㈜News In English	2	2年
	㈜実用英語基礎	2	2年3年
	㈜実用英語応用	2	2年3年
［共通］家庭	㈜生活技術	2	2年
体育	㈜フィットネススタディー	2	3年
英語	英語表現	2	3年
学 総合	㈜インターンシップ	1・2	1年2年（就） 集中講座
	㈜就職講座	1	3年 集中講座
学 国際文化	㈜韓国・朝鮮語Ⅰ	2	2年
	㈜韓国・朝鮮語Ⅱ	2	3年
履修単位数計		0～33	
総合学科選択科目履修単位数計		32～35	但し、集中講座取得者以外は、32単位

※は課題研究科目で必ず１科目履修する。

令和 3 年度 大阪府立　伯太　高等学校

全日制の課程　総合学科　教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科		入学年度	31				備考
		学級数	6				
		年次 / 科目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	
学校必修科目	国語	国語総合	5			10	
		現代文B		3	2		
	地理歴史	世界史A			2	4	○から1科目選択
		日本史A		2○			
		地理A		2○			
	公民	現代社会	2			2	
	数学	数学Ⅰ	4			6	△から1科目選択
		数学A		2△			
		㈜基礎からの数学		2△			
	理科	科学と人間生活		2		4	
		化学基礎	2				
	保健体育	体育	3	2	2	9	
		保健	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2	●から1科目選択
		美術Ⅰ	2●				
		書道Ⅰ	2●				
	外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	4			9	
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ		3	2		
	家庭	家庭基礎	2			2	
	情報	社会と情報	2			2	
	小計		27	15	8	50	
原則履修科目	学 総合	㈜産業社会と人間	2			2	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅠ)
	小計		2			2	
学校必修科目合計			29	15	8	52	
総合学科選択科目合計			0～1	12～16	20～24	32～41	
教科・科目の計			29～30	27～31	28～32	84～93	(集中講座を含む)
総合的な探究の時間			0	2	1	3	ｸﾞﾛｰｶﾙｽﾀﾃﾞｨｰ(GSⅡ・Ⅲ)
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総計			30～31	30～34	30～34	90~99	(集中講座を含む)

2 系列別表

※は課題研究科目で必ず１科目履修する。

総合学科選択科目

総合選択科目

系列	教科	科目	単位	備考	履修単位数計
IT・サイエンス	理科	㈜理科レポート入門	2	2年	0～22
		㈜スペースアドベンチャー	2	2年	
		㈜理科レポート実践	2	3年※	
	［専門］情報	情報産業と社会	2	2年	
		情報の表現と管理	2	2年	
		㈜表計算・文書作成基礎	2	2年3年	
		㈜表計算・文書作成応用	2	3年	
		㈜プログラミング	2	3年	
		㈜ITビジネス	2	3年	
		㈜マルチメディア	2	3年	
		㈜情報演習	2	3年※	
ビジネス・観光	国語	㈜古典の世界	2	2年	0～24
		㈜古典探訪	2	3年	
	地理歴史	㈜世界史演習	2	3年	
		㈜社会科課題研究	2	3年※	
	公民	政治・経済	2	3年	
		㈜時事問題	2	2年3年	
		㈜多文化理解	2	3年	
	商業	ビジネス基礎	2	2年	
		マーケティング	2	3年	
		簿記	2	3年	
	学観光	㈜観光Ⅰ	2	2年	
		㈜観光Ⅱ	2	3年※	
ライフスタイル	芸術	音楽・美術・書道Ⅱ	2	2年 Ⅰ科目履修者	0～32
		音楽・美術・書道Ⅲ	2	3年 Ⅱ科目履修者	
		㈜キーボード演習Ⅰ	2	2年	
		㈜キーボード演習Ⅱ	2	3年	
		㈜楽典	2	3年※	
		㈜造形Ⅰ	2	2年	
		㈜造形Ⅱ	2	3年※	
		㈜実用書	2	2年3年	
		㈜デザイン書	2	3年※	
		㈜色彩入門	2	3年	
	［専門］家庭	子どもの発達と保育	2	2年3年	
		服飾手芸	2	3年※	
		食文化	2	3年	
		㈜食品の安全と衛生	2	2年	
		㈜栄養理論	2	2年3年	
		㈜消費者経済学	2	3年	
	福祉	社会福祉基礎	2	2年	
		介護福祉基礎	2	3年	
		㈜社会福祉演習	2	3年※	
	体育	㈜レクリエーション	2	3年	
		㈜ダンス	2	3年※	
スポーツ	体育	㈜スポーツコンディショニング	2	2年	0～8
		㈜アスリートⅠ	2	2年	
		㈜アスリートⅡ	2	3年※	
		㈜ライフロングスポーツ	2	3年	
文理探究	国語	㈜文学概論	2	2年	0～24
		㈜国語演習	2	2年	
		㈜文学研究	2	3年※	
		㈜国語探究	2	3年	
	数学	㈜数学探究	2	2年	
		㈜数学課題研究	2	3年※	
	理科	㈜化学セミナー	2	3年	
		㈜生物セミナー	2	3年	
	外国語	㈜英語演習	2	2年	
		㈜英語演習応用	1	2年 集中講座	
		㈜英語探究	2	3年	
		㈜英語探究応用	1	3年 集中講座	
		㈜イングリッシュワークショップ	2	3年※	

自由選択科目

教科	科目	単位	備考
国語	㈜古典セミナー	2	3年
	㈜国語の表現	2	2年3年
地理歴史	日本史B	4	2・3年継続
	地理B	4	2・3年継続
	㈜日本史演習	2	3年
	㈜地理演習	2	3年
公民	倫理	2	3年
	㈜教養の社会	2	2年
	㈜公民演習	2	2年
数学	数学Ⅱ	4	2年
	数学Ⅲ	4	3年
	数学B	2	2年
	㈜実践数学Ⅰ	2	2年
	㈜数学Ⅰ・A演習（α）	1	2年 集中講座 αβの同時履修不可
	㈜数学Ⅰ・A演習（β）	2	
	㈜活用数学	2	2年
	㈜発展数学Ⅰ・A（α）	1	3年 集中講座 αβの同時履修不可
	㈜発展数学Ⅰ・A（β）	2	
	㈜実践数学Ⅰ応用	2	3年
	㈜実践数学A応用	2	3年
	㈜発展数学Ⅱ	2	3年
	㈜発展数学B	2	3年
	㈜活用数学セミナー	2	3年
	㈜人物で学ぶ数学史	2	3年
理科	物理基礎	2	2年
	物理	2	3年 物理基礎履修者
	化学	4	2・3年継続
	生物基礎	2	2年
	生物	2	3年 生物基礎履修者
	地学基礎	2	2年
	㈜環境科学	2	2年
	㈜生活の理科	2	2年
	㈜人体のふしぎ	2	2年
	㈜実用理科	2	2年
	㈜理科ニュース	2	2年3年
	㈜人体生理学	2	3年
	㈜生命科学	2	3年
芸術	㈜鑑賞演習	2	3年
	㈜毎日デザイン	2	3年
	㈜ペン字	2	3年
外国語	英語会話	2	3年
	㈜スクリーンイングリッシュ	2	2年
	㈜実用英語基礎	2	2年3年
	㈜実用英語応用	2	2年3年
［共通］家庭	㈜生活技術	2	2年
体育	㈜フィットネススタディー	2	3年
英語	総合英語	2	3年
	英語表現	2	3年
学総合	㈜インターンシップ	1・2	1年2年（就） 集中講座
	㈜就職講座	1	3年 集中講座
学国際文化	㈜韓国・朝鮮語	2・4	2年3年
履修単位数計		0～37	
総合学科選択科目履修単位数計		32～41	但し、集中講座取得者以外は、32単位